

浄水場・耐震性貯水槽配置図



緊急災害時の給水拠点のご確認を

東日本大震災のような大規模な災害によるライフラインの被害は、私たち市民の生活に極めて大きな影響をもたらします。したがって、震災発生直後の飲料水確保は、極めて重要であり、日ごろから給水場所などを確認しておくことは大切です。そこで、ライフラインの1つである水の確保のため、蕨市内の給水拠点を案内させていただきます。

蕨市では、配水池の耐震工事が完了した中央・塚越浄水場を中心として、錦町、北町、中央、南町、塚越の各地区に容量

が10万リットルある耐震性貯水槽を設けています。大震災等で水道水がご自宅まで行き渡らなくなったときのためにお近くの設置場所を確認しておく安心です。

耐震性貯水槽とは？

地震に強い構造になっている貯水槽のことで、普段は水道管と接続しているため水が流れ循環していますが、地震等で配水管が破裂し、他の場所で漏水した場合でも、水の流出を防ぐ仕組みとなっているため、貯水槽内の水を飲料水や消火用水として確保できます。

